

日本における死刑と厳罰化の犯罪抑止 効果の実証分析

村松 幹二 駒澤大学*

David Johnson University of Hawaii

矢野 浩一 駒沢大学

報告要旨

本研究は、死刑と厳罰化の抑止効果を数量的に分析することで、刑事政策の議論に資することを目的とし、1990年から2010年までの日本における死刑執行、死刑判決および凶悪犯罪に関わる法改正が、殺人、強盗殺人に与える影響について、月次データを用いた実証分析を行った。その結果、死刑執行・死刑判決人数のこれらの犯罪に対する抑止効果は見られなかった。一方、有期刑の上限の延長及び時効の延長という法改正による厳罰化は殺人、強盗殺人に対する抑止効果があったことが示された。

* 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 駒澤大学経済学部, Tel. : 03-3418-9652